

第2回全体研修

第2回全体研修

開催日 平成20年7月12日（土）

開催場所 プラザウエスト第一セミナールーム

第2回の全体研修は埼玉精神神経センター医局秘書の尾寄美奈氏より電話での対応の仕方を中心とした、接遇研修を行いました。

昨年も、尾寄氏よりコミュニケーション術について、苦情処理方法などについてお話を頂きましたが、今回、尾寄氏から具体的な電話対応について、出席者1人1人に質問をして答える対話形式で行いました。

「相手の方に失礼の無いような、丁寧な言葉に置き換えてみましょう」という問いには、

「出来ません」⇩「致しかねます」「今いません」⇩「あいにく席を外しています」「書いてください」⇩「記入をお願いします」「本日は直帰です」⇩「社の方には戻りません」

など普段から、丁寧な言葉が使えてない事を気付かされました。

また電話対応の禁句では、「そんなはずはありません」「そんなこと聞いていませんが」「絶対……」「多分……」「一応……」「ですから」など、普段からこのような禁句を言っている事はないかと、振り返ることが出来ました。



次回 第3回全体研修予定

日時 平成21年3月上旬予定

内容 「現場を感じよう」～救急隊とケアマネの連携（仮）～

講師 さいたま市消防局 警防部 救急課 課長補佐
消防指令 認定救急救命士 関根正明 他

Vol,15

2008年秋号

岩槻区・見沼区合同ケアマネサロン

「補聴器・訪問歯科事業者との情報交換」

開催日 平成20年8月29日（金）

開催場所 見沼区片柳コミュニティセンター

補聴器体感店ベルクリア
石橋潤氏、金子歯科診療所
佐藤真里子氏をお迎えし、「補聴器・訪問歯科事業者との情報交換」をテーマにお話をいただきました。

前半は、石橋氏より難聴の現状・補聴器についてご講義いただき、65歳以上の3分の1が難聴といわれ、高齢者の難聴は、「うつ」「ひきこもり」と密接に関連することが示唆されています。

ご本人・ご家族から補聴器の相談を受けた場合、実際にお店まで来ていただくことが一番良い方法ですが、抵抗感があったり、行けない場合、ご自宅で聴力検査等行うこともできます。

また、補聴器は慣れるまで時間がかかることも納得していただくことが大切です。個人差はありますが1ヶ月〜4ヶ月ほどかかるため、アフターケアが欠かせません。難聴を早期に発見し、耳鼻科医の治療を受けることで聴力が改善し、また補聴器を使用することで会話が増え意欲を取り戻すことで、生活の質の向上につながります。後半は、佐藤氏より訪問診療について口腔ケア、口腔リハビリの事例を踏まえて説明していただきました。

対象者は、主治医の先生がすでに往診していること、付き添い無しに病院へ行けないことが条件となります。病名として最も多いのが脳血管障害で他に高血圧症・認



知症・パーキンソン病など様々な疾患を抱えています。

高齢や障害になると口の中が不潔になりやすく、健常者が飲み込んでも問題のない常在細菌や歯周病菌等で肺炎を起こすこともあります。ご家族にもできる予防方法として、入れ歯を外してうがいをすることも効果的です。

事例では、なかなか口を開けてくれない方や入れ歯を自分の歯と思いこんでしまう方、何年も入れ歯を入れたままにして取れなくなってしまう方など、困難ケースもありました。

サービス内容や具体的な対応方法・事例などを交えてわかりやすく説明していただき、また質問にも丁寧に答えてくださり、今抱えているケースについて振り返る良い機会になりました。

目標に向けたサービスを展開していくためには、介護保険外のサービスも含めて理解を深め、普段からのネットワーク作りや連携の大切さを再確認しました。



岩槻区・見沼区合同ケアマネサロン

「水についての知識・配食サービスの試食を兼ねた情報交換」

開催日 平成20年9月26日（金）

開催場所 岩槻駅前コミュニティセンターワッツ

大塚製薬の松井正彦氏をお迎えし「水についての知識・配食サービスの試食を兼ねた情報交換」についてをテーマにお話いただきました。

会場は超満員！定員オーバーのサロンが開催できました。なんて言うほどどんなに集まったのか？とお思いでしょうが：実は会場が狭いだけ、でも20名集まりました。

水についての知識として新聞でも取り上げられた「点滴より経口補水療法」痛い思いをせず脱水が改善される療法の話を伺いました。

高齢者はその生理学的、機能的要因により脱水状態に陥りやすい、また脱水と様々な疾患の発症との間には関連性がある。脱水状態の改善、脱水の進行防止を目的として、経口補水療法が海外では普及しているそうです。

経口補水療法で使用される経口補水液は失われた水・電解質を素早く吸収させるために組織が調製された飲料です。

経口補水療法は少しの油断で脱水を起こす可能性のある高齢者への使用が期待される療法。お医者様に行かなくても点滴と同等の効果がある経口補水液：ご存知でしたか？

家庭でも専門的知識がなくても手軽に、経口補水液があれば：脱水改善です。ケアマネの引き出しに収納！！

次に宅配クック123さんから「宅配クックの普通食」「宅配クックのカロリー

食（糖尿病食含む）」「宅配クックのたんぱく調整食（腎臓病食）」の提供を受け、また大塚製薬さんから経口補水向けの試供品OS-1とカッサンドの差し入れもあり、試食を兼ねた情報交換が和気藹々と行われ、楽しい満腹サロンが開催できました。



岩槻区・北区・見沼区合同ケアマネサロン

「在宅の高齢者の救急対応と連携」

開催日 平成20年10月23日(木)

開催場所 プラザノース

「6分15秒」、これは119番通報から救急車が到着するまでの平均時間(平成19年度)です。「皆さんは貴重な時間、何をすることが出来ますか?」

今回は、北区・岩槻区・見沼区の3区合同のサロン会で、さいたま市消防局 警防部 救急課 課長補佐 消防司令 認定救急救命士の関根正明氏を講師にお迎えし、また、救急隊員5名(総勢6名)の方に協力をお願いし、講義と実技(救急法)を行いました。

前半は、関根氏より、消防局の現状、救急活動の流れ、救急隊との連携、心肺蘇生法の流れをご講義いただきました。救急現場での対応は、一刻一秒を争う世界であり、緊迫感が伝わってきました。



後半は、1組6名でチームを組み、心肺蘇生法(意識の確認)「人工呼吸」「胸骨圧迫」「AEDの取扱」の実技を参加者全員が行いました。緊張

感があり、真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。当事者になった場合、正常な判断がでないこともあるので、普段からの訓練と心がけが大切です。

最後に座談会を行い、救急隊の方々大変内容の濃い意見交換をすることができました。

救急隊の方から、現場では情報が不足しており、ヘルパーさんや関係者が現場にいた場合、病院まで付き添っていたとき、本人の情報がほしいとのご意見がありました。情報がなくて医療機関の受け入れ先を探すのに時間がかかるため、「現病歴」「既往歴」「主治医」「家族の有無、連絡先」等の情報があるかどうかで搬送先の手配と病院の対応も違ってきます。

それぞれの立場もあるため、病院までの付き添いについて課題はありますが、立場が違っても目的は一緒です。現場の意見を聞くことで今後どのように連携を図っていけばよいか考えるきっかけになったと思います。



浦和区ケアマネサロン

開催日 平成20年9月19日(金) 午前10時~12時

開催場所 浦和駅東口パルコ10階コムナーレ会議室

昨年10月にオープンした浦和駅東口パルコ10階コムナーレ会議室においてケアマネサロンを開催しました。雨のなか27名参加、うち2名は南区からも参加いただきました。

まずは「自己点検シート」について勉強会。講師は浦和区代表幹事の志村峻氏、また会長 宮本好彦氏も実際、実地指導を受けた立場から助言いただきました。勉強会では「指導・監査の流れ」など大きなものから「記録の残し方」や「アセスメントの頻度」など具体的なものまで勉強しました。「モニタリングに記載があれば経過記録の必要はある?」「終了した資料の保管期間は?」など質問も多く聞かれました。「次回も同じテーマで開催して」などの意見もあり「指導・監査」に対して関心の高さを実感いたしました。

次に意見交換会。今回は出席者の半数近くが管理者や代表者。残り半数を新人の方が占めるなど面白い構成でした。新人の方からは「監査の細かさを知り」気分がブルーになる。どうかしてやる気をおこしたい」「事務量を減らしたい」など悩みも多く聞かれました。それらに対し「パソコンはバックアップを取っておいて」「行政は意外と丁寧に指導してくれる。あまり不安にならなくても大丈夫」「今日から始めるつもりで頑張りましょう」などベテランの方からアドバイスをいただきました。

浦和区は今年度役員3名全員が交代し慣れない運営でしたが参加者の方に助けられました。新規会員が6名増えるなど嬉しい限りです。また平日午前中の開催など新しい試みも行ってみました。今後は、意見を伺い気軽に参加できるサロン作りをと考えております。今回は孤立しがちなケアマネの悩みが目立ちました。サロンがそんな悩みや不安を少しでも解消し新しい情報を得ることが出来る希望を持てる場となればと感じました。



第1回南区ケアマネサロン

開催日 平成20年8月12日(火)

10時～12時

開催場所 南区文蔵公民館

第1回南区ケアマネサロンは南区文蔵公民館で、法令順守について、困難ケース検討を行いました。法令順守では、都道府県・市町村が実施する指導・監査の流れについて、集団指導・実地指導・監査があることを再確認いたしました。

今後、自己点検シートを使用して、ケアマネジャーが行うべき業務をチェックしていく必要があることを認識させられました。

また、困難ケース検討では、地域包括支援センターやきよホームズの小川氏よりゴミ屋敷に住んでいる方に対しての援助経過について報告がありました。

ゴミ屋敷の掃除は、ハウスクリーニング業者とボランティアで片付けを行い、その後、生活保護の申請を行ったとのことです。小川氏から、困難ケースはケアマネジャー一人で悩まず、地域包括支援センターを巻き込んで一緒に対応をしましょうと言っていただけでした。



北区ケアマネサロン

開催日 平成20年9月19日(金)

開催場所 原殿園

原殿園にて、「ケアマネ業務の意見交換会」という形で北区のケアマネジャー対象に、地域包括さんも交えてサロンを開催し、普段のケアマネ業務の中で疑問に思うことや悩んでいることなど意見を出し合いました。

14名の参加があり、具体的には先ほど行われた集団指導の内容の確認や情報パスの扱いについて、予防ケアプランについて、ケアマネジャー更新研修の費用、等々の内容の話が出ておりました。

こぢんまりとした形でしたが、普段お会いすることがない事業者さんとも交流ができ、情報の共有や問題解決のヒントにつながったり、ケアマネジャー同士としてネットワークが図れることを期待した良い機会となりました。



第1回 中央区・桜区ケアマネサロン

開催日 平成20年9月27日(土) 13時～15時

開催場所 トワーム小江戸病院(認知症疾患治療病院)

テーマ ①病院見学 認知症に対する取り組みの説明(病院スタッフより)
②意見交換 見学を終えて

内容

①はじめに担当の方より病院の設立目的と病院が治療として取り入れている最新の認知症への対応についてお話を聞きました。次に精神保健福祉士から治療の大きな特色として取り入れている認知症リハビリテーションの主な4点についてa音楽療法、bドックセラピー、c園芸療法、d認知症ケアマッピング、などの説明を受けました。続いて院長先生より当院の治療は認知症を的確に診断し、治療を施せば治癒するものや軽減する症状に対し画期的な効果を挙げている。また内科的病気を併発している方や重篤な症状に陥っている方の治療に力を入れているなどの現状についてお話がありました。

②意見交換では、「認知症を本格的に入院させて治療をする施設が少ない中、専門の病院ができた」「院内が大変豪華で感心した」「療養型病院のベッド数減に対応している」「治療の種類が多く症状の好転にチャンスがある」「中間施設として長く利用できる」などの意見が出されました。



総括

ここでは認知症治療の一環として短期入院、重度認知症デイケアがあり、医療保険の対象のため介護保険の限度額がいつぱいの方も利用ができません。また、転院希望や退院後については相談員が関連施設や他施設への紹介、在宅への連携の手伝いをしてくれそうです。今後、高齢化がいつそう進むことを考えると認知症の治療は高齢者の生活と家族の思いを実現する要です。実際に施設を見学することでこれからのケアプラン作成にまたひとつ選択肢が増えました。参加者の意見にも納得できる点が多く意義深い交流ができました。

西区ケアマネサロン

開催日 平成20年10月17日(金)

開催場所 老人保健施設ケア大宮花の丘

今回の西区サロンは『高齢者の食品案内―栄養管理は何故必要か』と題して、明治乳業様のご協力により10名の参加で行われた。

栄養管理はすべての治療・療養の基礎であり、これが不良であるとどんな治療も結果として無効である。また、不適切な栄養管理は予後に悪影響がある。特に、高齢者の栄養について考える時、その特徴はタンパク質が足りないことである。タンパク質の欠乏は日常生活動作能力を低下させ、また入院している場合は回復が遅れたり合併症を併発することが多い。そのような知見にもとづいて1970年頃からアメリカにおいて、医師・薬剤師・栄養士等がチームを組んでサポートする必要性が言われ始めた。現在この考え方は欧米を始め日本でも一般的になりつつある。

また、高齢者の誤嚥による身体への影響は従来からいわれているように顕著で、水分摂取のための「飲み込み」動作を助ける「とろみ」付けの有効性が一般に理解されてきている。

そのほかにも療養中の食欲減退に有効な高カロリー・高タンパク・ビタミン強化の食品について様々な研究工夫が進んでいることが理解できた。市販または通販についての情報も頂き、何種かの食品を実際に味見させて頂きました。特にアイスクリームなどはとっっても濃厚で、ボリュームがありました。



20年度第1回 大宮区ケアマネサロン

開催日 平成20年11月7日(金)

開催場所 市民会館おのみや

テーマ 「いま、ケアマネジャーに求められるもの」

今回の大宮区ケアマネサロンは、和光市役所長寿あんしん課 東内京一氏をお招きして、特に軽要介護者を中心としたケアマネジメントのあり方と、ケアマネジャーの意識転換の重要性、今後の方向性等について、和光市の取り組み・現状を通して講演していただきました。氏は、インターネットで「東内京一」と検索すると、多数ヒットする有名人であるためか、40名を超える参加者が集まり、実際に日々、市行政職員として、第一線でご活躍しておられるからこそその熱意と、時にユーモアを交えての講演は、時間の経過を忘れてしまう「あっ」という間の2時間でした。

氏は、特に軽度者に対し、過剰なサービス・理念無きサービスを使っていないか? 専門職であるにも係わらず、ちよつと言われたぐらいで意見を曲げ、言いなりになっていないか? 単なる御用聞きになっていないか? と問います。国の財政事情を意

識し、制度維持のために適正な給付をケアマネジャーだけでなく利用者も考え、他者依存的なケアプランではなく、本当の自立支援型ケアマネジメントを実践してほしいと。和光市での介護予防事業・地域支援事業で市(氏)は、例えばデイサービスをある程度利用し状態が改善したら、後は地域の○○事業へ等多くの独自サービス・受け皿も積極的に展開し、給付の抑制に成功しているそうです。

確かに、強制加入が前提の公的介護保険では、モラルハザードが起こりやすい欠点があります。しかし、被保険者だから使えるのに、サービスを利用しない人もたくさんいます。氏は、被保険者の権利を主張し、「不適切」なサービス利用を希望する軽度者・家族には「おばあちゃんの保険料納付は2万円なのに、給付額は19万円です」や、少子高齢化による今後の生産年齢人口の減少を示すグラフを見せ、国の社会保障財源の危機



を説明し、納得していただくこともあるそうです。歳をとるとは自己責任ではありません。介護保険法第4条は分かれますが、個人では対応困難な保険事故と、努力により改善可能な困窮状態との違いを測ることは簡単ではありません。財源の話はだすのであれば、介護保険制度以外の社会保障については? 和光市は健康日本21との総合政策化も言及はしています。では、例えば市町村国保において、医療給付費抑制のための疾病予防対策も含め、ここまで厳しく行えるのでしょうか? 人生いろいろ。「いま、ケアマネジャーに求められるもの」も、いろいろだなど感じた晩秋の1日でした。

平成20年度 第1回医療介護連携研修会

開催日 平成20年7月(火)

開催場所 大宮ソニックスシテイ会議室

平成20年7月29日(火) 看護ステーション・居宅支援事業所みどりの9年間の軌跡、難病患者の在宅看護を通じての思い、エーザイ株式会社よりアリセプトの紹介、最後に出席者全員の自己紹介があり、充実した内容でした。

高年齢化がすすむ中で、医療、訪問看護、地域包括ケアマネージャーが連携を図り、地域で支え、見守っていく体制が整うようそれぞれが協力していく必要があると思われました。

冒頭、大宮医師会副会長の湯沢先生より、認知症を地域でいかに見守っていくか、医療、地域との連携についての取り組み、マップの作成等についてのお話がありました。

認知症診断医、認知症サポート医、認知症相談医、認知症診療協力医、もの忘れ相談医の登録を呼びかけて研修を行い、今年度中にもの忘れ相談医のマップを作成し、情報公開していく予定とのことです。

地域包括支援センターの取り組み、大宮医師会訪問



さいたま市介護保険サービス事業者連絡協議会 第2回 研修会

開催日 平成20年10月16日(木)

開催場所 市民会館 おおみや 小ホール

今回のサービス事業者連絡協議会の研修は、「訪問看護について」～在宅療養の現場はいま～をテーマにパネルディスカッション形式で行われました。

パネラー事業所として、

(桜区) スター訪問看護ステーション

片倉 扶美子 氏

(浦和区) 浦和訪問看護ステーション

吉原 卓子 氏

(南区) ケアメイト訪問看護ステーション

原田 雅子 氏

(大宮区) さいたま市大宮訪問看護ステーション

青木 澄子 氏

(大宮区) 訪問看護ステーション タッチ

神田 美佐枝 氏

コーディネーターとして、

(中央区) 与野訪問看護ステーション

清水 美智子氏

をお迎えし、訪問看護の現状を、①「在宅療養現場での連携について」②「ターミナルケアについて」に分けて話していただきました。

医師との連携に関しては、大きい病院の医師と連携がとりにくい…という事や、医師によっては使う訪問看護ステーションが決まっている時があるので事前の確認が必要なお話があること。ケアマネ

と同じ様に、指示書をいただく時などは医師の余裕がある時間に何う等の工夫をしているとのこと。

ケアマネとの連携に関しては、「床ずれ」が酷くなつてから訪問看護を導入するよりも、早めに訪問看護の導入を検討していただきたい事とか、利用者退院時の看護サマリーの原本は訪問看護ステーションで預かるものだから扱いに注意していただきたいということ。退院時のカンファレンスには是非、呼んでいただきたいとのこと。

訪問介護等サービス事業者との連携に関しては、訪問看護は訪問介護との併用が多いので連絡ノートを共通で使用し活用する等工夫をされているそうです。また、カテーテルが入っている方に関してはヘルパーに指導も行っているとのこと。

ターミナルケアについては、ケアマネが休みの土日でも突発の対応が多いこと。短期間に様々な支援者が入るので家族と感情を共有できたということ。今後の予測を家族に話すことにより、家族の不安を緩和する等、家族への支援が支援者の役割ということを話されました。

病院の入院可能な日数が減っている現在、今後、在宅で看取るケースは増える見込み。今まで以上に、訪問看護の活用と連携が重要になってくることと確認できた研修でした。

※平成20年9月 埼玉県訪問看護協議会のHPが立ちあがりました。是非、アクセスしてみてください！

施設介護支援専門員研修の報告

「平成20年度第1回施設ケアマネサロン」

開催日 6月28日(土) 13時30分～16時

開催場所 浦和しづや苑

今年度初回の研修は「施設ケアマネサロン」。施設・居宅の区別を問わず会員全体を対象として開催しました。

テーマは「介護予防体操」。転倒予防教室やいきいき塾(介護予防教室)などで日頃、運動指導にあたっている浦和しづや苑在宅介護支援センターの長谷川さん、同地域包括支援センターの松本さんを講師に運動指導について学びました。

ビデオに合わせて参加者一同、手足を動かして「血液循環体操」を体験。ストレッチで身体が十分に温まった後は、車椅子に座ってボール、セラバンドを使った体操を行いました。それぞれの施設に持ち帰り、工夫してレクリエーションに取り入れようと、高齢者に運動指導をするにあたっての注意事項や留意点を学習しました。

その後はテーマを決めない情報交換会。施設ケアマネと介護スタッフの連携、有料ホームでのケアマネジメント、透析を受けている利用者の短期入所についてなど、意見・情報交換の場となりました。この4月から業務に就いた新人ケアマネさんも2名の参加がありました。

施設・居宅の区別を問わず自由な交流の機会を提供する「施設ケアマネサロン」。今後も定期的に開催したいと思います。



施設介護支援専門員研修の報告

「平成20年度第2回施設ケアマネサロン」

開催場所 9月27日(土) 13時～17時

開催場所 敬寿園

「ICFの視点～介護者に必要な視点をやしなおう～」をテーマに講師として「ゆらぎ」の寺岡氏をお招きして開催いたしました。

ICFの視点については、当施設ケアマネ研修でも2回目の開催でしたが、約25名の参加者が集まりました。

ICFの視点の講義をふまえ認知症のMさんの生活行為を介護者がどうとらえるのか?どのよう な事を見抜けるのか? 繰り返し各ワークシートに書き込み、発表しあう事で様々な見方・とらえ方を確認しました。

ペットボトルの水を飲むという動作の中にどれだけの生活動作(機能)が含まれているか? というワークでは、ペットボトルの水を飲む行為にも、私たち

はこんなにも多くの生活動作(機能)を使っているんだと改めて感じさせられました。

利用者の普段と違う様子にも、いち早く変化に気づき、早期に見つけられる「目」を身に付けたい...と感じられる研修会でした。



結婚式の主役は誰だ!?

浦和しぶや苑 松本 幸司

台風にすっかり嫌われて、のんびりとした秋だなあ…なんて思っていたら自分のはいた息で文字が描ける寒さが「あっ」という間にやってきちゃいました。今年の冬は、気温も頭皮も財布の中身も極寒になりそうな予感(悪寒)に震えた…そんなある日の事…結婚式とやらに行ってきた(ガキンチョ付)。

儀式というものにはルールが付き物。そんなルールを簡単に破れるのは、やはり「ガキンチョ」。チャペルでは神父さんより先に「アーメン」と叫び、ヴァージンロードを2歳上のませたお姉ちゃんに連れられて、「主役」より先に腕を組んで歩いている。「ガキンチョ」よ…人生の墓場に入るのはまだ早すぎる…。

披露宴に移ってからは、シニアパワーが随所に炸裂。移動のバスで飲みすぎたのか乾杯の挨拶の前にすでに「へべれけ」な叔父。親族の日本舞踊お披露目は1曲だけでは物足りず、勝手にもう1曲追加して司会者を困らせている。新郎父親は飲みすぎて最後の挨拶で、

結婚する二人とは全く関係ない話を何度も何度も繰り返す始末…。

オイラとカミサン等かというと「あの衣装は追加で25万。シャボン玉オプションは追加5万。料理のグレードは…フムフム…金かけてるなあ!」等々と勝手に費用計算に燃えていた!(純粋に祝う気持ちを失っています。イヤですな~☆)

なにはともあれ、老若男女いろんな人達が集まると「どえらいパワー」が生まれるんだなあ~♫ 地域向けのイベントも「高齢者限定」にしない方がイイに違いないと思っちゃいました☆

(結婚した)お2人さ~ん!いつまでもお幸せに~!! この先、間違いなく「旦那の人権」は無くなる事は覚悟してくださいね~(笑)

※ちなみに披露宴の最中、「ガキンチョ」は「新婦友人の子供」になりきっていました…全く…先が思いやられるってもんだ↓↓↓

◇◇◇◇◇ やどかりの里からのお知らせ ◇◇◇◇◇

映画 **ふるさとをください** -明日はみんなにくるんだよね-

富永憲治監督作品 脚本 ジェームス三木 出演者 大路恵美 ベンガル 藤田弓子 他

日時: 2009年3月14日(土) *上映時間調整中 場所: さいたま市民会館おおみや 小ホール

全席自由席 前売り券1,000円 当日1,200円

問合せ先 やどかりの里 やどかり出版 長谷川まで(電話 048-680-1891)

精神障害のある人たちが始めたクリーニング屋と、その活動に反対する街の人々。さまざまなふれあいの中で街の人々の雰囲気が変わり始める…。美しい自然あふれる和歌山を舞台にした、心あたまる映画です。

事務局より

会員の住所・事業所等登録事項に変更があった場合や入会・退会希望の場合は事務局までご連絡ください。

さいたま市介護支援専門員協会 事務局 野崎・西間木

(財)さいたま市在宅ケアサービス公社内

電話番号 048-645-7470

FAX 048-645-7500

リニューアルしたので見てくださ~い!!

ホームページ

<http://www.saitamashi-keamane.jp>